



Wreath

最後の作品は「円」を表すリースです。「円」は止まっていると入口も出口もなく、上下左右もない独立、完結した形です。しかしそれが回転をはじめると循環が起き生命力を感じさせます。そんなところが面白いと思っていたからです。

当初は昆虫や蛇、花をあしらったリースを思い描きスケッチしていました。しかしなんとなく月並みな感じがして制作は進みませんでした。そしてそのまま展示の開催まで数日となる3月11日になってしまいました。

その日は友人の農園から美味しい野菜がたっぷりと届き、一緒にほころんだ梅の花も入っていました。野菜をとりだそうと包みを開くと土と梅のとてもよい香りがし、部屋いっぱいになりました。

梅の香に春を感じたこと、そして3月11日だったことから東日本の震災をうけた方々への気持ちも重なり、日本の四季と手を組み合わせたリースにしようと決めました。桜、時計草、菊、椿、日本人にはなじみの深い花々です。私のそばに生きてくれている人と手をつなぎ、届かない人には指さきでそっと触れるように祈ることができればと思ったのです。

GOTO AIKO / 後藤愛子

1978年 東京生まれ

東京造形大学卒。デザイン会社にて、ビジネス系雑誌などエディトリアルデザインを多数経験。2006年より、フリーランスのデザイナーとして活動を開始。2010年に出産したことをきっかけに、テクノロジーに頼らない、より手仕事を重視した心と身体感覚のともなう表現を模索。切り絵の紙から切り出すことで生まれるレースのような繊細な美しさと、二次元と三次元のあわいを揺らぐような表情を作り出せることに面白みを感じ、独自のスタイルを築く。彩色をほどこすことで、従来のシルエット切り絵にはない微妙な感情のニュアンスを伝えることができる。ワークショップなどとおして、切り絵の楽しさも伝えている。

好きな作家はトーベ・ヤンソン、エルサ・モラ、アントニオ・タブッキ、ナタリア・ギンズブルク

2009年 CWC CHANCE 展 ファイナリスト受賞

Mail design@akifoto-inc.com

WEB <http://www.akifoto-inc.com>

記念のシーンや特別な方との大切な思い出を、切り絵にします。

ウェディングのウェルカムボードや、ショップの屋号、大切な方のお名前をいれたオリジナルデザインの切り絵をお作りいたします。

額装してお渡しいたしますので、すぐに飾ることができます。

また、切り絵ワークショップも受付しております。お気軽にご相談ください。

GOTO AIKO 切り絵作品展

Every piece comes with a story.

すべては物語をともなって

作品目録・解説

Every piece comes with a story.

すべては物語をともなって

魚

循環

つながり

蟹

窓

貝

Wreath